

# フリモ姫路 10

2017 Vol.60

姫路に○○な  
秋が来た!

食べる秋満喫

40代Beautyヘアサロン特集

秋のお悩み解消  
スペシャル

巻頭特集

# ことぶきの ぶどうぱん

新しい生活・快適な生活のためのハンドブック!

# はりまの家

別冊

掲載店が  
ケータイ&スマホで探せる!

モバイル版

フリモ



## 姫路銘菓「玉椿」

「玉椿」は、しつかりした甘味の黄身あんを薄紅色の柔らかい求肥(ぎゅうひ)でくるんだ和菓子。姫路の和菓子というと、真っ先に思い浮かべる人が多いかもしれません。

玉椿を製造・販売しているのは、江戸中期の元禄年間から続く老舗・伊勢屋本店(西二階町)。玉椿の歴史は、江戸後期の天保年間ま

# 姫路遺産

で遡ることができます。

当時の姫路藩主は酒井忠実。養子の与四郎(忠学)に11代将軍・徳川家齊の娘「喜代姫」を迎えることになったのを祝い、老舗のご先祖が考案したとされます。

以来、藩の御用菓子として用いられ、明治維新後は姫路銘菓として一般大衆にも広まりました。戦後は、国鉄監修の時刻表に姫路駅の駅弁各種と並び、玉椿が「姫路土産の好適品」として紹介されていた時期もあります。

銘菓というからには、玉椿にもっと古い歴史を想像していた人もありそうですが、江戸中期まで砂糖は価格が高く「薬」と同等の扱いを受けるなど貴重品。当時は、和菓子の「あんこ」といえども「塩味」「みそ味」がもつばらでした。

国内でサトウキビの栽培が成功し、砂糖の価格が下がりに始めるとともに砂糖を使った和菓子の生産が盛んになってきたのが、ちょうど天保の頃にあたります。

さて玉椿は、その名の通りツバキがモチーフ。ツバキの赤い花びらと黄色い花心をかたどった仕上がりです。おめでたい見た目から



慶事の席でお茶うけや贈答品として使われることが多いようですが、弔事向けに求肥の色が白い「白玉椿」を特注することができます。

また最近では、週末限定で抹茶風味の玉椿もお目見え。時と場所を選ばず時代の流れにも合わせてきた懐の深さも、玉椿が姫路銘菓の代表格として人気を保っている理由の一つかもしれません。

フリモ姫路 ▶ はりなび 姫路 リニューアル号 11月号 より 新企画スタート!

\\ はりなび 読者 //

# 街かどりポート

投稿者  
大募集!!

はりなびリポーターになって街の魅力を発信しよう!

掲載イメージ



保城 30代女性  
ナビ子さん



【はりなびベーカーリー】姫路市保城 233-6

オススメは朝9時に焼きあがるカレーパン! お肉がザロザロ入っていて、スパイシーな辛さが痛みつきになりますよ!



GIFT 採用された方全員に QUOカード 500円分プレゼント!

募集中テーマ

11月号 : 私のお気に入りパン屋さん  
12月号 : 私のお気に入りスイーツ

はりなび編集部  
からの  
Mission

- ① 毎月出されるテーマに対して、推薦コメントを投稿しよう!  
私だけが知ってる秘密の楽しみ方、お得な情報などを教えてください!
- ② テーマに合った写真も一緒に送ってね!  
投稿者の方の画像(なるべくお写真、イラストでもOK)もお忘れなく!
- ③ 投稿採用回数が増えればいいこともあるかも!  
毎回のQUOカードに加えて3回・5回など節目の投稿で特別ボーナスも検討中!

応募方法

- 右のQRコードを読み取り、
- ①お名前(ペンネーム可) ②住所 ③年齢
  - ④投稿写真1点(横向き)
  - ⑤投稿者画像1点(写真・イラストなど)
  - ⑥推薦コメントを入力、画像を添付の上、送信してください。  
パソコンからも送信できます。http://www.furimo-h.jp/report宛に送信

